

どんぐり村の こみ・すく通信

令和 7年 9月10日発 令和7年度 第11号
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団の活動を紹介<その1>

あたたかい言葉かけ

8月26日(火)に、「さらべつほーぷ」の三浦さん(保健師)が中心となって、更別中央中1年生を対象に、「伝えたいことを上手に伝えるコミュニケーション」と題した授業を行いました。この授業では、「さらべつほーぷ」の他のメンバーが寸劇を披露する等、生徒の心に響く工夫が至るところで見られました。生徒は、「相手も自分も大切にしたいあたたかい言葉かけ」を、しっかりと理解することができたのではないかと思います。



「酪農」を学ぶために

更別小と上更別小の3年生が、8月29日(金)に、上更別の酪農家・家常直輝さんから、酪農家の仕事についての講話を聞きました。牛の出産シーンを撮った動画視聴も交えながら、仕事のやりがいや苦労等を語ってくれました。授業後も、児童からは、次々と



質問が飛び出し、酪農への興味関心の高さを感じました。

地域と連携した防災教育として 中央中学校の「一日防災学校」

更別中央中の全学年が、8月27日(水)に、村内の各機関のご支援をいただき、「一日防災学校」を実施しました。1時間目は全校で避難訓練を行い、その後、学年毎にさまざまな体験をしました。

【1年生～避難所作り】

最初は、役場総務課・村田さんから、更別村での過去の自然災害や避難所設置等について学びました。その後実際に、赤十字奉仕団の方やシルバーハウジングに住んでいる人たちと一緒に、テントやベッドを組み立てました。社会福祉協議会の小丹枝さんからは、新聞紙スリッパの作り方を教わり、その場で自分の物を作ってみました。



【2年生～救命講習】

更別消防署の方々から、他人の命を救うための初動的な知識を身に付け、技能を習得するために、心臓マッサージとAEDの使い方を教わりました。生徒は、細かなところまでしっかりと話を聞き、真剣な表情で取り組んでいました。



【3年生～防災クッキング】

一戸栄養教諭の指導のもとで、赤十字奉仕団や「すずらん会」の方々と、ビニール袋を使って湯煎でできる「筑前煮」「栗蒸しパン」等を作りました。紙のお皿の作り方も教わり



ました。最後には、作った紙容器にラップを敷き、食品を盛って試食をしました。貴重な体験でした。